



このページでは本校の硬式野球部の活動
状況をレポートしていきます。

7月20日【夏の選手権大会 5回戦 vs 私立立正大学付属立正高校】

2試合連続のコールド勝ちで進んできた紅葉川の次なる5回戦の相手は立正大立正高校でした。会場は江戸川区球場ということで、本校の生徒、OBOG、地元の地域住民の方々、本校の保護者の方々と、本当にたくさんの方が応援に来てくださり、観客席が超満員での試合となりました。

紅葉川は初回到エラーも絡み、1点を先制します。その後お互い出塁を許すも粘り、3回に1失点、6回まで1-1で進みます。7回裏、フォアボールにヒット、エラーも絡み、紅葉川は4失点。その後、8回に1点を返し追撃を試みるも立正大立正の投手を捉えられず、5-2で

敗れました。これをもって、33期チームの夏が終わりました。紅葉川高校としては2014年以来の夏の大会でベスト16進出となりました。たくさんの応援、ありがとうございました。

7月20日(土) 第101回全国高等学校野球選手権大会 東東京大会 試合終了		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	計
球場 江戸川区																	
プレイボール 12:53	紅葉川	1	0	0	0	0	0	0	1	0							2
ゲームセット 14:43	立正大立正	0	0	1	0	0	0	4	0	X							5
先攻	紅葉川	後攻	立正大立正	備考													
投手	砂川 田中	投手	谷口	【五回戦】													
捕手	鈴木	捕手	溝口														
本塁打		本塁打															
三塁打		三塁打															
二塁打	藤川	二塁打	本庄														

今回の試合もメディアに取り上げられました。クリックで外部サイトに移動します。

↓ サンスポ



7月18日【夏の選手権大会 4回戦 vs 私立東京高校】

初戦をコールドで勝ち上がり迎えた4回戦、相手は私立東京高校でした。序盤は両校共にチャンスを作るも攻めきれず、得点できませんでした。4回、3番藤川がフォアボールで出塁すると、4番込山はその後の初球を振り抜き2ランホームラン、ライトスタンドへ運びました。ここから紅葉川打線に火がつき、2番富永が畳み掛けるように3ランホームランを放ち、一挙8得点しました。その後3失点するも6回に2点を追加。最終的に10-3で7回コールドで勝利しました。

ルドで勝利し、2戦目も紅葉川打線を爆発させ、ベスト16入りが確定しました。

7月18日(木) 第101回全国高等学校野球選手権大会 東東京大会 試合終了		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	計
球場 神宮	紅葉川	0	0	0	8	0	2	0									10
プレイボール 11:32	東京	0	0	0	0	3	0	0									3
ゲームセット 13:06																	

先攻	紅葉川	後攻	東京	備考
投手	砂川 田中	投手	小野(翔)	【四回戦】7回コールド
捕手	鈴木	捕手	有村	
本塁打	込山 富永	本塁打		
三塁打		三塁打		
二塁打		二塁打	佐藤 手塚	

今回の試合も各メディアに取り上げられました。クリックで外部サイトに移動します。

高校野球ドットコム↓



↓ 日刊スポーツ



↓ 日刊スポーツ②



7月15日【夏の選手権大会 初戦 vs 日大一高】

紅葉川にとっては緊張の初戦。日大一高を相手に7-0、8回コールドで勝利しました！

次は18日(木)、神宮球場で11:30開始です。次の試合も応援よろしくお願い致します。

7月15日(月) 第101回全国高等学校野球選手権大会 東東京大会 試合終了		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	計
球場 神宮	紅葉川	0	0	0	0	5	0	0	2								7
プレイボール 11:29	日大一	0	0	0	0	0	0	0	0								0
ゲームセット 13:04																	

先攻	紅葉川	後攻	日大一	備考
投手	砂川	投手	岩瀬 梅村	【三回戦】8回コールド
捕手	鈴木	捕手	入江	
本塁打		本塁打		
三塁打	砂川	三塁打		
二塁打	和田 菅澤	二塁打		

また、各メディアで試合の様子が報じられました。クリックで外部サイトに移動します。

↓ 高校野球ドットコム



↓ 日刊スポーツ



↓ スポニチアネックス



↓ サンスポ

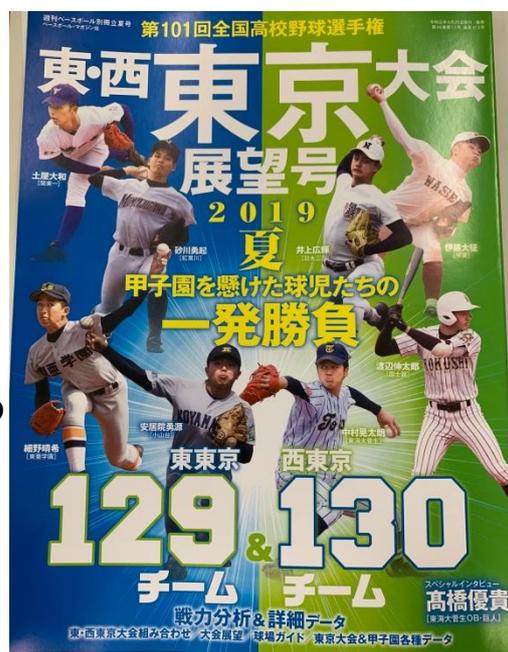


6月28日【週刊ベースボール 掲載】

今回は、毎年夏に刊行している「週刊ベースボール東西東京大会展望号」に本校野球部が、東東京のシード校として掲載されました。

さらに表紙には本校の投手、砂川勇起君が載っています。本校のページは、野球部ページのリンクをクリックしてご覧になれます。

※本記事の掲載は株式会社ベースボール・マガジン社の許可を得ております。



6月25日【ホームラン7月号 掲載】

廣済堂出版が刊行している野球雑誌「ホームラン」に本校野球部が、東東京の注目校として掲載されました。今年度は多くの取材を受け、この夏に向けたたくさんの期待をさせていただ

ているということが実感できています。この期待に応えられるように、選手、指導者ともに



昨秋は攻玉社に2対3で敗れ、1次予選初戦で終わった。主将の鈴木大凱は「負けたのが悔しくて、何が悪かったか、全員で意見を出し合いました。秋は他人任せのところがあったと思います」と語る。

都大会会場である江戸川区球場が近くにある学校で冬の間は部員一人ひとりが自覚を持って練習に取り組んだ。特に力を入れたのが打撃練習。特製の長いバットを振り込むことでスイングが速くなった。

秋の敗戦から半年後の3月16日、春の1次予選初戦の相手はまたも攻玉社。今年の6月で22歳となるベテラン・田河清司監督は「決まってからは眠れないし、下緊張でした」と語る。

しかし今度は、1回裏に12点を挙げ、28対0の5回コールドで大勝した。この勝利で勢いに乗り、昨秋8強の城東などを振り4回戦に進出。田河監督が紅葉川に赴任して10年目で初の夏のシード校になった。

調布南、日比谷、武蔵丘など、都立の野球部の指導に情熱を傾けてきた指揮官は、この夏で監督を退くつもりである。

田河監督と野球をしなくて紅葉川に入ったという鈴木主将は「まず自分たちのために勝ち続けることが、田河先生への恩返しにもなると思います」と語る。

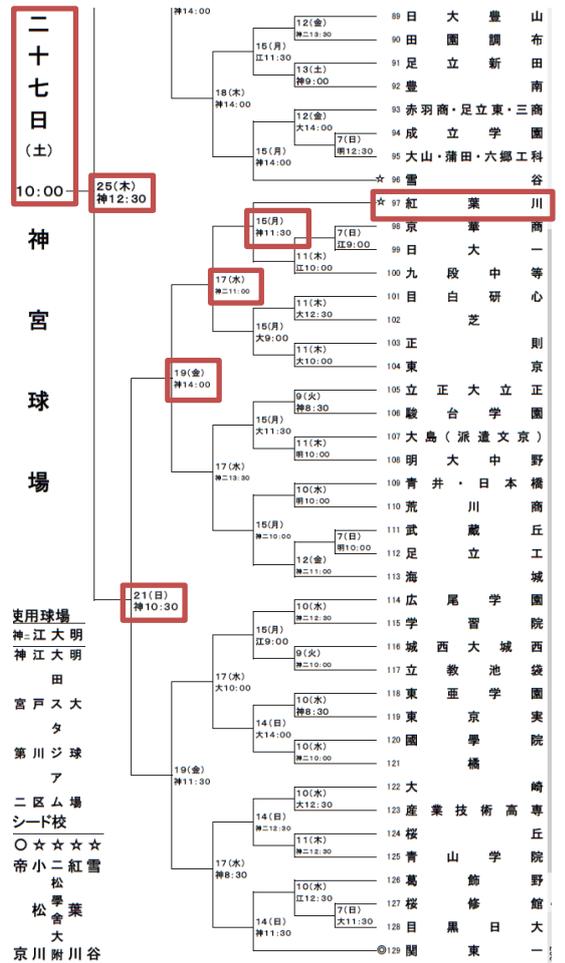
その思いは、田河監督も同じ。「最後の夏なので満喫したい」と語るベテラン監督と、「下町の野球小僧」の“暑い夏”が始まる。



6月20日【高校野球ドットコム・マネージャー編 掲載】

「頑張るマネージャー」として、本校野球部のマネージャーが高校野球ドットコムに掲載されました。画像クリックでジャンプします。





6月18日【夏の大会組み合わせ・会場が決定】

夏の大会の組み合わせが決定しました！

紅葉川の初戦は、7月15日(月)神宮球場にて

11:30 試合開始です。対戦相手は日大一高、

京華商、九段中等の勝者となります。この夏に

向けて選手たちはたくさん練習を重ねてきました。

応援の程、よろしくお願い致します。

6月12日【江戸球ナイター vs 小松川高校 高校野球ドットコム掲載】

江戸川区球場でのナイターの様子が、高校野球ドットコムに取り上げられました。

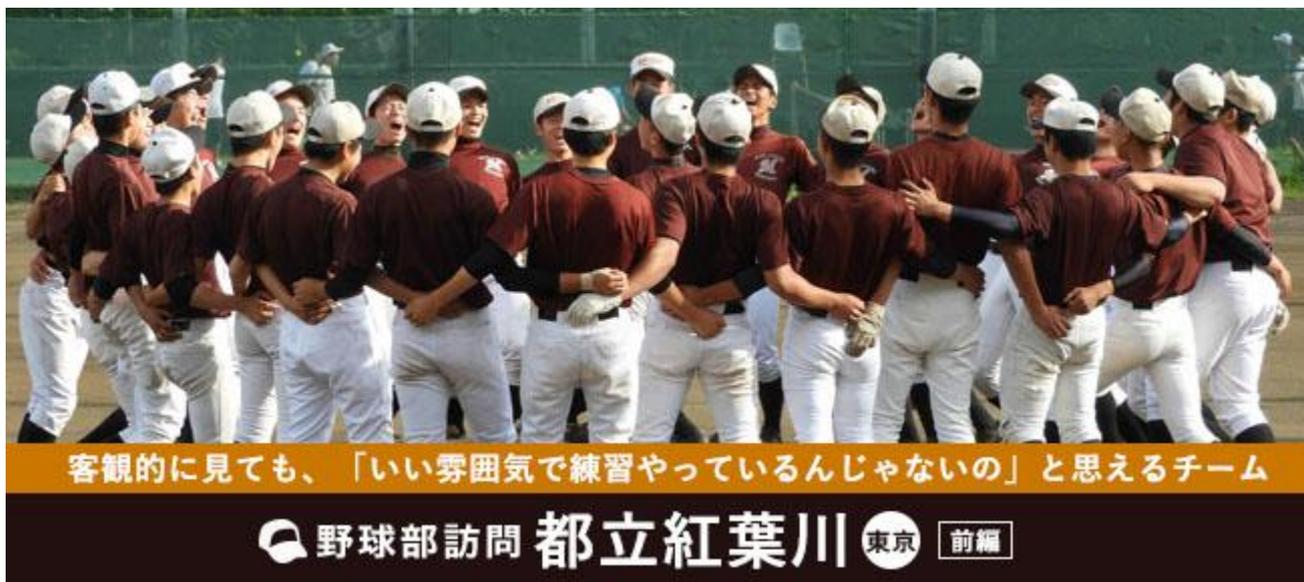
画像をクリックするとリンク先にジャンプします。



5月28、30日【高校野球ドットコム掲載】

本校の野球部の活動が高校野球ドットコムに取材を受け、記事として掲載されました。

画像をクリックするとリンク先にジャンプします。



5月18日【コーチング講座】

この日は本校で初の試みとなるコーチング講座を開催しました。今回は選手と保護者の方に参加していただき、「マインドの仕組みと使い方」に関する講演を聞いていただきました。

今回、普段企業を対象にコンサルタントをされている方を講師として招いて、コーチング講

座を開催しました。「目標設定の考え方」や

「うまくいかないときの心の持ちよう」、

「本番のパフォーマンスを上げるための

普段の心がけ」など、多くのことをお話し



していただきました。選手も保護者も初めての内容ということでたくさんの好評をいただき

ました。今回の講演は、選手たちそれぞれが、普段の練習中や試合中の取り組み方や気持ちを

を振り返り、よく考えるための良い機会となりました。新しい知識を上手に利用してそれぞ

れのパフォーマンスにつなげてくれることを期待しています。

